



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月11日

上場会社名 ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社  
 コード番号 6698 URL <https://www.visco-tech.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 足立 秀之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 管理本部長 (氏名) 滝沢 義信

TEL 03-6402-4500

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,777	6.7	277	51.4	273	66.0	173	43.9
2020年3月期第2四半期	1,666	6.0	183	32.7	164	34.4	120	40.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 166百万円 (27.1%) 2020年3月期第2四半期 131百万円 (36.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	27.16	26.91
2020年3月期第2四半期	18.97	18.66

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,948	2,869	69.6
2020年3月期	3,883	2,742	67.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,747百万円 2020年3月期 2,633百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		6.25	6.25
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				6.25	6.25

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 配当予想の修正については、本日(2020年11月11日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正並びに中期経営計画の見直しに関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,480	0.3	440	5.1	430	1.0	250	17.8	39.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正については、本日(2020年11月11日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正並びに中期経営計画の見直しに関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 有 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	6,406,400 株	2020年3月期	6,406,400 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	117 株	2020年3月期	48 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	6,406,299 株	2020年3月期2Q	6,373,626 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載しております。また、当社は、2020年11月18日(金)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(追加情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大により、深刻な景気減速傾向が続きました。国内は、緊急事態宣言が解除され、経済活動優先の動きもあり、徐々に経済活動の回復の兆しも見え始めてきましたが、先行き不透明な時期が続いております。

このような環境のもと、当社グループの経営環境は、新型コロナウイルス感染拡大により、営業活動に制限を受けるなどの影響が一部出ていますが、国内外の5G関連をはじめとしたスマートフォン用電子部品（コネクタ、MEMS他）向けを中心に業績は好調に推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は1,777,052千円（前年同期比6.7%増）、売上総利益は1,010,410千円（同7.4%増）、営業利益は277,968千円（前年同期比51.4%増）、経常利益は273,898千円（前年同期比66.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は173,968千円（同43.9%増）となりました。

なお、当社グループは、画像処理検査装置事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,523,624千円となり、前連結会計年度末に比べ64,790千円（1.9%）増加いたしました。これは主に、中国市場向けの売上の伸長に伴う製品在庫の引当増加により、製品、原材料及び貯蔵品が175,854千円増加、並びに国内市場における売掛金回収が進んだことにより現金及び預金が21,712千円増加、受取手形及び売掛金が146,165千円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は425,021千円となり、前連結会計年度末に比べ257千円（0.1%）増加いたしました。これは主に、リース資産を含めた無形固定資産の増加7,320千円、差入保証金の回収による減少5,777千円によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は727,053千円となり、前連結会計年度末に比べ67,621千円（8.5%）減少いたしました。これは主に、当社グループ各社において未払法人税等が36,681千円増加した一方で、前連結会計年度に係る仕入代金の支払により、買掛金が97,859千円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は352,589千円となり、前連結会計年度末に比べ5,825千円（1.7%）増加いたしました。これは主にリース債務が11,230千円増加した一方で、長期借入金が5,480千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計額は2,869,002千円となり、前連結会計年度末に比べ126,844千円（4.6%）増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益173,968千円の計上、及び非支配株主持分が12,748千円増加した一方で、為替換算調整勘定が19,748千円減少及び配当金支払により利益剰余金が40,039千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は69.6%（前連結会計年度末は67.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度(2021年3月期)の連結業績見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が経営成績に与える影響を合理的に算定することが困難な状況が続いておりますが、最近の業績動向を踏まえ、売上高3,480,000千円(前年同期比0.3%増)、営業利益440,000千円(同5.1%減)、経常利益430,000千円(同1.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益250,000千円(同17.8%減)を予想しております。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正並びに中期経営計画の見直しに関するお知らせ」をご参照下さい。

また、上記の業績予想は当連結会計年度末までは新型コロナウイルス感染症の影響が続くものと想定し、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。今後も新型コロナウイルス感染症の動向を見極めながら、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,004,004	2,025,717
受取手形及び売掛金	966,083	819,917
製品	174,555	285,805
原材料及び貯蔵品	283,553	348,157
その他	30,691	44,247
貸倒引当金	△54	△220
流動資産合計	3,458,833	3,523,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	44,030	43,967
減価償却累計額	△24,008	△25,233
建物及び構築物(純額)	20,022	18,734
その他	339,794	365,868
減価償却累計額	△232,786	△257,144
その他(純額)	107,008	108,724
有形固定資産合計	127,030	127,459
無形固定資産		
ソフトウェア	169,596	163,133
その他	30,556	44,340
無形固定資産合計	200,152	207,473
投資その他の資産		
繰延税金資産	34,850	33,369
その他	62,729	56,719
投資その他の資産合計	97,579	90,088
固定資産合計	424,763	425,021
資産合計	3,883,597	3,948,645

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	368,344	270,484
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	46,400	41,800
未払法人税等	44,659	81,340
賞与引当金	70,665	71,997
その他	164,606	161,431
流動負債合計	794,674	727,053
固定負債		
長期借入金	305,480	300,000
資産除去債務	15,531	15,606
その他	25,752	36,982
固定負債合計	346,763	352,589
負債合計	1,141,438	1,079,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,180	490,180
資本剰余金	470,976	470,976
利益剰余金	1,673,934	1,807,862
自己株式	△78	△163
株主資本合計	2,635,012	2,768,856
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,876	△21,624
その他の包括利益累計額合計	△1,876	△21,624
非支配株主持分	109,021	121,770
純資産合計	2,742,158	2,869,002
負債純資産合計	3,883,597	3,948,645

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,666,222	1,777,052
売上原価	725,684	766,641
売上総利益	940,537	1,010,410
販売費及び一般管理費	756,923	732,442
営業利益	183,614	277,968
営業外収益		
受取利息	717	1,050
助成金収入	—	7,541
その他	204	157
営業外収益合計	921	8,749
営業外費用		
支払利息	11,029	10,746
為替差損	1,866	626
支払手数料	6,667	880
その他	7	565
営業外費用合計	19,570	12,819
経常利益	164,965	273,898
特別損失		
固定資産売却損	299	—
固定資産除却損	140	0
特別損失合計	439	0
税金等調整前四半期純利益	164,525	273,898
法人税、住民税及び事業税	29,710	81,480
法人税等調整額	△4,270	1,479
法人税等合計	25,440	82,960
四半期純利益	139,085	190,938
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,187	16,970
親会社株主に帰属する四半期純利益	120,897	173,968



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	139,085	190,938
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△7,710	△23,969
その他の包括利益合計	△7,710	△23,969
四半期包括利益	131,374	166,968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,696	154,219
非支配株主に係る四半期包括利益	20,678	12,748

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	164,525	273,898
減価償却費	81,357	85,096
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,857	169
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,042	1,332
受取利息及び受取配当金	△717	△1,051
支払利息	11,029	10,746
為替差損益 (△は益)	920	554
固定資産売却損益 (△は益)	299	—
固定資産除却損	140	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△103,448	141,281
たな卸資産の増減額 (△は増加)	131,318	△179,409
仕入債務の増減額 (△は減少)	△15,794	△94,793
その他	24,468	△13,478
小計	292,285	224,346
利息及び配当金の受取額	818	1,049
利息の支払額	△12,151	△10,439
法人税等の支払額	△2,698	△44,453
法人税等の還付額	3,332	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	281,585	170,503
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△35,501	△601
有形固定資産の取得による支出	△16,338	△32,183
有形固定資産の売却による収入	473	—
無形固定資産の取得による支出	△47,248	△46,399
その他	△19	5,777
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,634	△73,407
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,722	△5,100
長期借入金の返済による支出	△16,758	△10,080
株式の発行による収入	12,332	—
自己株式の取得による支出	—	△84
配当金の支払額	△39,419	△39,831
財務活動によるキャッシュ・フロー	△46,566	△55,096
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,463	△20,888
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	131,920	21,111
現金及び現金同等物の期首残高	1,725,859	1,942,835
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,857,779	1,963,947

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

四半期連結財務諸表提出会社における、製品の評価方法は、従来、個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）に変更しております。

また、原材料の評価方法は、従来、主として個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）に変更しております。

これらの変更は、基幹システムの変更を契機として、より迅速かつ適正な期間損益計算を行うことを目的としたものであります。

なお、この会計方針の変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第2四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の感染拡大が当社グループの業績に与える影響は軽微であります。今後につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せない状況にあることから、顧客の設備投資動向など外部環境の変化に伴う受注高の減少が懸念されており、業績に与える影響については一定期間注視していく必要があります。

このような状況の中、新型コロナウイルス感染症の影響を予測することは困難であります。当該影響が当連結会計年度末までは継続すると仮定したとしても、最近の業績動向を踏まえると限定的であるため、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを大幅に見直す状況には至っておりません。なお、感染拡大の動向については不確定要素が多いことから、その仮定に変化が生じた場合には、当連結会計年度の当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。